

Revelation Book One

黙示録第1巻

*Jesus Christ*  
*The*  
*Resurrected King*

---

復活した王としての  
イエス・キリスト

B. R. ヒックス



Christ Gospel Churches Int' l., Inc.

P. O. Box 786

Jeffersonville, Indiana 47131-0786

本書は、2009年12月6日にクライスト・ゴスペル・チャーチ・  
ジャパンが羽村市小作台に移転し、献堂したことを記念して、  
全能の主イエス・キリストに心からの感謝を捧げつつ発行す  
るものです。



イエス・キリスト

復活した王

## 目 次

章		ページ
前書き	.....	5
第1章	黙示録に対するヨハネの序文.....	13
第2章	エペソの教会.....	65
第3章	スミルナの教会.....	101
第4章	ペルガモの教会.....	129
第5章	テアテラの教会.....	183
第6章	サルデスの教会.....	209
第7章	フィラデルフィヤの教会.....	247
第8章	神の神殿の柱.....	303
第9章	3つの御名を記すこと.....	319
第10章	ラオデキヤの教会.....	341
第11章	報酬の3つの段階.....	375
第12章	24人の長老と4つの生き物.....	407

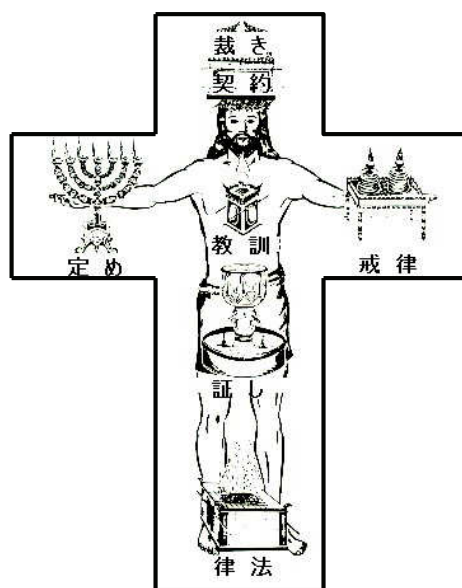
## 前書き

黙示録は長年、最も頻繁な神学的な論争の場となってきました。ある人々は、黙示録の全体を単なる想像上の作り事に過ぎないと認識しており、それは使徒ヨハネがパトモス島での長い時間の放浪で暇つぶしをしていた時の、夢か何かであるとしました。他の多くの人々は、この書の神聖な靈感を認めてはいますが、その一部分を捻じ曲げて自分たちの気に入ったある特定の教義に合わせようとして時間を費やしています。この書の奥義を解明しようとするすべての肉的な試みはフラストレーションのたまる混乱状態で終わることになります。

対立する考えのもつれた糸の塊のような矛盾を解き、イエス・キリストを、そのよみがえりの御力と栄光と美のすべてにおいて啓示するためには、神の御霊が必要です。キリストを啓示することは、神にとって決して新しい働きではありません。何千年もの間、神は御子の身丈を世に明らかにするために、無限の忍耐の御業を行ってこられたのです。エデンの園において、神は人に霊的ないのちの木から食べる機会を与えられました。しかし、アダム男性と女性はいのちの木を無視して、善悪を知る知識の木から食べることを選びました。

神はあわれみ深く、罪深い人間のための覆いを備えてくださいました。そして、しばらくの間、人間はこの恵みと神のあわれみの啓示の中を歩きました。後にイスラエルの子らが聖なる神に近づき、交わりを持つための道が必要になったとき、主はモーセをシナイ山の頂上で雲と火の中に召し、そこで神は旧約聖書の幕屋のための設計図をお与えになりました。

モーセの幕屋として知られている最初の幕屋は、第二の、そしてさらに偉大で、さらに完全な幕屋であるイエス・キリストの身丈と働きのほんの影に過ぎませんでした。モーセの幕屋の中の7つの家具は十字架の形に配置されましたが、その各々はイエス・キリストの完全な霊的な身丈の一部分を表していました。



しかしキリストは、すでに成就したすばらしい事がらの大祭司として来られ、手で造った物でない、言い替えれば、この造られた物とは違った、さらに偉大な、さらに完全な幕屋を通り、（ヘブル9：11）

神は、聖霊が処女マリアを影で覆ったときに、ご自身の御子についての啓示を続けられました。このようにして受胎された体、すなわち幕屋は、新しい構造、地上の構造物に無限に優れた建物の様式でした。第二の幕屋はあまりの輝きと栄光を伴って現れたので、神はその影を遠ざけ、生きた真理は、真昼の太陽の卓越した輝きとして啓示されて立っておられました。しかし、モーセの幕屋は神の御子の身丈の神聖な青写真あるいは概略図であったので、キリストの完全さにまで

成長する道を明らかにする導きの光となるのです。「ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身たけにまで達するためです。」（エペソ4：13）真理の身丈（十字架の4つの点で描かれている）は、霊的な体験を描写しており、その体験はイエス・キリストにおける霊的な成熟に向けて私たちが成長するにつれて、自分のものとすることができるのです。

旧約聖書の幕屋は神の御子のひな型であり、御子の中に知恵と知識の富のすべてが隠されているのです。それはまた、他のすべての聖書の知恵と知識を解く鍵でもあります。聖書全体は主イエス・キリストの麗しい啓示です。したがって、神が聖書は**すべて**有益であると言われたのは適切なことです。「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。」（Ⅱテモテ3：16, 17）

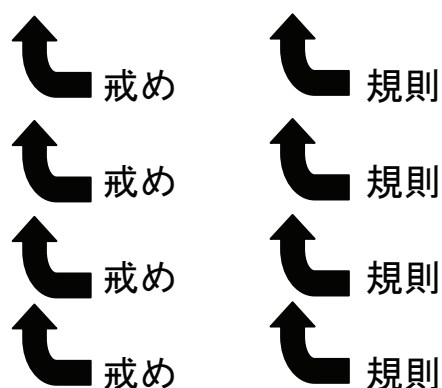
新約聖書の偉大な預言の書である黙示録は、よみがえらされ、栄光を与えられた神の御子の完全な身丈を明らかにするのですが、**すべての**聖句が有益であるという真理を受けそこなったことにより、多くの人は、この書を研究する際に道を見失う結果となりました。私たちは神のみことばの一部分でも否定していながら、神の御霊が真理のさらに偉大で、さらに高い領域を理解するために私たちの心を開き続けてくださることを期待することはできません。

私たちが、聖書の最後の書に隠された栄光に満ちた真理をさらによく理解するために、祈り深く、またへりくだって主を求めて来た時に、主は、**すべての**聖句

から取られた秘密を啓示してくださいました。これらは新しい段階の真理を解き明かす偉大な鍵のようなものです。最初の鍵はイザヤ書の中に見出されます。

**第一の鍵—すべての神のみことばの啓示は少しずつ与えられるものです。**

「彼はだれに知識を教えようとしているのか。だれに啓示を悟らせようとしているのか。乳離れした子にか。乳房を離された子にか。彼は言っている。『戒めに戒め、戒めに戒め、規則に規則、規則に規則、ここに少し、あそこに少し。』と。」（イザヤ28：9，10）



啓示は神が戒めに戒め、規則に規則を与えられるときに、もたらされます。これが私たちの学び方です。これは、私たちの心の中で神のみことばが成長するための神の備えです。神はみことばを、真理の一つの層の上にもう一つの層を加えることによって明らかにされます。この原則は、神の祝福のみことば、裁きのみことば、そしてまた神の預言のみことばにあてはまります。頭だけの知識は自我をふくらませます。一方、神が与えられた知識は心に変化をもたらし、霊的な成長における進歩を可能にします。成熟は、私たちがすでに受けたものを消化するにつれて、ここに少し、あそこに少しと、ゆっくりと、しかし少しずつ前に進む



ようにしてもたらされます。

**第二の鍵**—黙示録は、啓示が与えられたときには、まだ成就していなかった事柄について語っています。

イエス・キリストの黙示。これは、**すぐに起こるはずの事をそのしもべたちに示すため、神がキリストにお与えになったものである。そしてキリストは、その御使いを遣わして、これをしもべヨハネにお告げになった。**（黙示録1:1）

…「ここに上れ。この後、**必ず起こる事をあなたに示そう。**」（黙示録4:1）

第1章第1節にあり、第4章で繰り返されている鍵によって、黙示録を正しく分類することが可能になります。神の最後の預言書は、**未来の事柄—すなわちこの後必ず起こること—に属するものです。**これは、基本的に歴史的な出来事に関わるものではありません。このことは、聖句の多くの誤った解釈を不可能にします。例えば、第12章に記された女は、処女マリアであり、彼女が生んだ男の子はイエス・キリストだと多くの人は教えています。しかし、この解釈は真実ではありません。なぜなら、イエスの誕生は、ヨハネがパトモス島で啓示を受けた当時の歴史的な事実であったからです。

ある人々が神のみことばには、矛盾があると主張することによって起こりうる

あらゆる混乱を避けるために、黙示録1:19を解明しましょう。

そこで、あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事を書きしるせ。

(黙示録1:19)

この節で天使は、ヨハネに次のことを書き記すように命じました。すなわち、1) あなたの見た事、2) 今ある事、3) この後に起こる事です。黙示録は第1節から始まっているので矛盾は見つかりません。ヨハネが見た最初の幻は、高く上げられ、よみがえらされたキリスト（「あなたの見た事」）です。直後に神はヨハネに、彼の時代に存在した7つの教会についての啓示を与えられました（「今ある事」）。それから黙示は、後の日のために神が心に持つておられた事（「この後に起こること」）を含めるように進行しました。第19節の命令に従って、ヨハネは黙示の最初から見ていたこと、彼の時代に存在していたこと、将来起こることを書いたのです。

**第三の鍵**—幻は天と地の間で交互に起こります。

この鍵もまた、多くの混乱を取り除きます。黙示録は地上の光景、天の光景、そして地下の光景を描写しています。例えば、今後に属する最初の幻は、大患難の間に地上で起こるであろう出来事を記述しています。私たちはすでに啓示が少しずつ与えられることを知っています。しかし、それは必ずしも、時間的な順序に従っているわけではないので、私たちの目から覆いを取り除き、終わりの日々計画されている出来事についての神のカレンダーを私たちに見させるために

は、御霊と聖霊の油注ぎが必要です。

これらの3つの知識の鍵を持って、私たちはすべての啓示の中で最高のもの—主イエス・キリストの啓示についての学びをはじめましょう。

黙示録はイエスの4つの御姿を表しています。すなわち、王としてのイエス・キリスト、小羊としてのイエス・キリスト、白い雲に乗ったイエス・キリスト、そして白い馬にまたがったイエス・キリストです。イエスの4つの御姿のすべてを一つの本で網羅することは不可能と思えるので、この巻は、王としてのイエス・キリストの学びに限定することにします。続く巻は、黙示録におけるイエス・キリストの他の御姿を含むこととなります。

著者



## 黙示録第一巻

### 復活した王としての

## イエス・キリスト

---

### 第1章

#### 黙示録に対するヨハネの序文

(黙示録1:1-20)

人間の舌のどんな言葉も、救い主、神の油注がれた方を記述するためには十分ではありません。どんな一幅の絵でも、キリストの人格、属性、御性質の全体像を捉えるには小さすぎます。エデンの園で、アダム男性と女性はいのちの木を見ましたが、その価値を認識することに失敗しました。アブラハムは信仰の目を通して、はるか遠くの神の小羊を見ました。モーセは燃え尽きない燃える柴を見るために脇に寄りました。そして、この啓示が彼の全生涯を変えました。神はこの人を用いて、ご自身の民をエジプトの縄目から導き出し、後に旧約聖書の幕屋の形においてイエス・キリストの身丈の幻を与えられました。

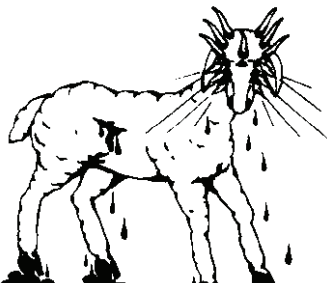
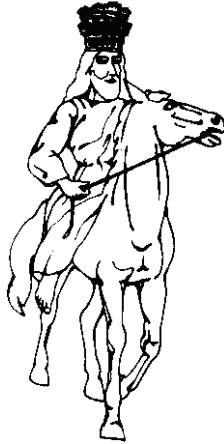
旧約聖書の預言者はそれぞれ少しずつ異なった光でキリストを見ていました。ある者はキリストの裁きの力を見、ある者は彼のあわれみと赦しの性質を見ました。ある者は受難の僕であると宣伝し、別の者は来るべき王であると語りました。しかし、神が御子を個人として世に送られたとき、ほんのわずかな人々しかこの

へりくだりの王を認めませんでした。この世はマリヤの腕の中の赤児を見、そして、ただ男の赤児がもう一人律法で要求された捧げ物として神殿に連れてこられたとだけ理解しました。彼らは単にイエスと名づけられた子供を見たに過ぎませんでした。宗教的なパリサイ人たちがイエスを十字架につけたのは、イエスがご自分は神の子であると宣言なさったからでした。

ペンテコステの日に、使徒パウロは立ち上がって言いました。「…ですから、イスラエルのすべての人々は、このことをはっきりと知らなければなりません。すなわち、神が、今や主ともキリストともされたこのイエスを、あなたがたは十字架につけたのです。」(使徒2:36) 後に、ヨハネが御霊のうちにあったときに、神は覆いを取り去り、死ぬべき人間に、今やよみがえらされたキリストに属している美と栄光と威厳の幾分かを、かいま見させられたのです。

一般に黙示録として知られている書物は、ヨハネが主イエス・キリストについて見た4つの啓示を含んでいます。ヨハネは、最初に王として描かれたキリストを(黙示録1:1-4:11)、次に小羊としてのキリスト(黙示録5:1-14:13)を見ました。3番目に、彼は白い雲に乗って現れたキリスト(黙示録14:4-19:10)を、そして、4番目に、白い馬にまたがられたキリスト(黙示録19:11-22:21)を見ました。

イエス・キリスト  
白い馬に乗った  
王の王 および 主の主



イエス・キリスト  
ほふられた小羊



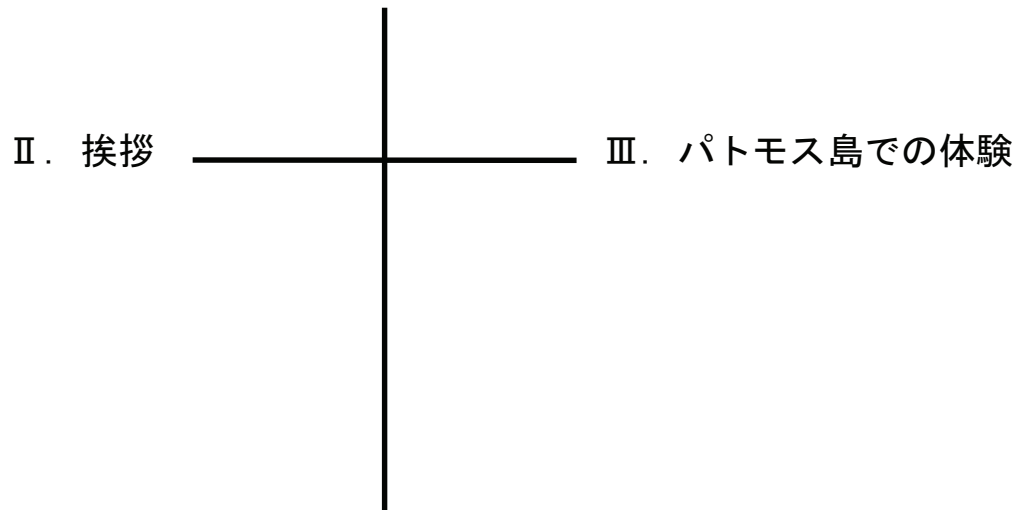
イエス・キリスト  
白い雲の上の人の子



イエス・キリスト  
復活した王

初めの幻において、愛されていたヨハネは7つの教会のただ中に、王として啓示されているイエス・キリストが立っておられるのを見ました。それによって、彼が神の聖徒たちの王であるという真理が確証されました。

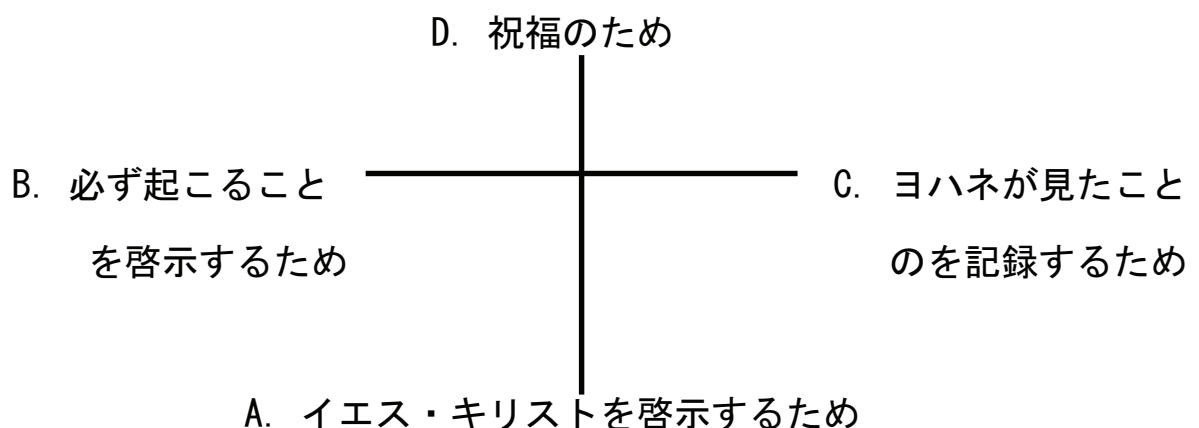
#### IV. 啓示された奥義



#### I. 本書の目的

#### I. 本書の目的

イエス・キリストの黙示。これは、すぐに起こるはずの事をそのしもべたちに示すため、神がキリストにお与えになったものである。…（黙示録1.1）





4重の目的が、直ちに私たちを黙示録の存在理由へと導いてくれます。それは、使徒ヨハネの前で展開される壮観なドラマの幕開けの序曲です。冒頭の言葉は、次第に高まっていくクレッシェンドの始まりです。私たちの心は畏れと驚きをもって、じっとたたずんでいます。これこそ**イエス・キリストの啓示**なのです。

## A. イエス・キリストを啓示するため

黙示録の第一の目的は、イエス・キリストを啓示することです。この方は本書全体の主題であり、象徴です。このような背景において、イエス・キリストの啓示は、教会のみならず、この方の第二の出現を待つ全世界に対する、この方の人としての顕現と出現と結びついています。これと同じギリシャ語アポカリプスは新約聖書の他の諸節で用いられていますが、それらもまた、私たちの主の、人としての出現のこの考えを伝えています。

…また、熱心に私たちの主イエス・キリストの現れ（アポカリプス）を待っています。（Ⅰコリント1:7）

…また教えられもしませんでした。ただイエス・キリストの啓示（アポカリプス）によって受けたのです。（ガラテヤ1:12）

…このことは、主イエスが、炎の中に力ある御使いたちを従えて天から現れるときに（主のアポカリプスのときに）起こります。（Ⅱテサロニケ1:7）

信仰の試練は、火を通して精錬されてもなお朽ちて行く金よりも尊いのであって、イエス・キリストの現れ（アポカリプスのときに）称賛と光栄と栄誉に至るものであることがわかるのです。（Ⅰペテロ1:7）

ですから、あなたがたは心を引き締め、身を慎み、イエス・キリストの現れ（アポカリプスのとき）あなたがたにもたらされる恵みを、ひた